

特定非営利活動法人エフエムわいわい
 Nonprofit Organization FMYY(En)
 Organización sin fines de lucro FMYY(Es)
 Tổ chức NPO FMYY(Vt)

特定非営利活動法人エフエムわいわい 2019 年度事業報告書

◆総括

1995 年の震災から始まった「コミュニティの必要に応じ、コミュニティの人々から発信」として生まれた「FM わいわい」(以後 FMYY)の求めるところは、時が経とうとゆるがない。活動の形態自体は、社会変化といろんな方々の参加と篤い教示や示唆、知恵や情報の共有の中で変容している。ラジオ電波からインターネット配信へ、そして放送からインターネットサイトとしての新しい形をとることとなった。それらの変遷については別資料を参照いただきたい。

2019 年 9 月、「インターネットを活用したコミュニティメディア FMYY」の新たな可能性がまたひとつ切り開かれた。スタジオに関西学院大学山中ゼミからの機材支援、そして寄付金で備品や機材を投入し、リアルタイムで動画上の画面合成を行えるようになった。これにより特に YouTube 配信の画面情報の幅が広がり、例えば言語的バリアーを視覚の面でカバーすることも可能となった。外からの中継もスマートフォンを利用し映像を用いた実況中継を「1.17KOBE に灯りを in ながた」で実施できた。

このように ICT を活用した多様な取り組みが萌芽したのが 2019 年度であったと言える。運用ノウハウや技術的には手探りではあるが新しい方向性を切り開けたのではないだろうか。



こうした設備改革は、特に 2019 年 12 月から世界的な新型コロナウイルス感染症蔓延の中で大きな力を発揮した。人との「出会い」「接触」を切断することが「感染予防」という、今までにない新たな世界的災害において、遠隔での番組制作、あるいは多言語での情報発信という場面で、視覚情報もリアルタイムで発信できることは大きかった。また「STAYHOME」という自宅避難、あるいは自粛することへの見えない社会的圧力が続く中、YY の番組作りを通じてつながった人々へ電話や遠隔での「安否確認」「不安の解消」ということが行われた。

震災が生み出した最初の一粒「被災地で私たちにも等しく権利はあるのか？」という排除されがちな人々の声は FMYY となり、その基本理念は脈々と繋がっている。つまり FMYY は『言語のバリアーを越えていく!』というツールであると共に「ひとり一人の声を聴く」いろんな違いに寄り添う存在であることを「コロナ災害」においても実証できたと考える。また情報取得が多岐に渡る社会の災害下において、今回

のコロナに対する情報錯綜を見るにつけ、市民一人一人のメディアリテラシー向上が今後の課題であることも痛感した。

以上 FMYY の今後の活動内容につなげていくべき気づきが多くあった 2019 年であった。FMYY は、「すべての人に存在意義」があり「違う立場の人への気づき」をうながし、その気づきを広げていくために「自分はなにができるか」ということを考え、知り、行動する場であることが、25 年前も今も YY に集う人々の中に綿々と存在していることが、遠隔での CrewMTG で確認できた。

その他個々については、各項にて詳細を述べるが、本年度もいずれの活動も継続することができた。また課題となっている団体自体の持続可能性を高めるべく、いくつかの取り組みを少しずつではあるが進めている。

I 事業

(1) 多文化共生のまちづくりに資するコミュニティメディア事業

ア) 発信

FMYY ホームページの音源掲載（オンデマンド配信）、と連携した Podcast、YouTube を使った動画。

① 番組の配信形態・配信システム全般について

- FMYY ホームページの音源掲載。
- Podcast でのアーカイブ化：FMYY ホームページの音源掲載に連動してアップ。
- 2019 年 7 月 Web サイトの改定。特にトップページを改定し、個々の番組へのアクセスを改善。
- YouTubeLive ならびに FacebookLive：山中研究室から新たなメディア機器を使って、2019 年 9 月 18 日から 1080 p / 720 のハイビジョン形式でクロマキー合成も加えてリニューアル配信。
※（クロマキー合成：画像中の緑を透明色として扱うことで、簡単に別の画像と合成できる。新しい配信システムではリアルタイムの画面合成が可能となっている）
- 視聴数の統計：現在サイマル放送と FMYY ホームページ掲載音源の視聴統計を集計。
- 2020 年 3 月からはワンコイン番組は、不特定多数の参加が基本ということで休止。
- 2020 年 3 月からの配信方法は番組ごとに野外での収録編集や遠隔での録画配信、中止などで対応。
- 2016 年の新体制発足時より音源協力いただいていた Wmiba（一般社団法人ワールドミュージックインターネット放送協会）が運営体制変更となり、楽曲の使用ができなくなった。またそれに伴い楽曲の著作権管理が別団体に移行したケースが頻発し、楽曲を利用していた YY のアーカイブ番組についても、一部公開を続けることができなかった。

③ 配信番組

カテゴリー	番組名	放送形態
ダイバシティ	スペイン語番組「Latin-a」	週 1 YouTube/Facebook 生クロマキー
	ベトナム語番組「HÃY AN NHIÊN MÀ SỐNG」	月 1 YouTube/Facebook 録画クロマキー
	タガログ語番組「AWEP あんしんつうしん」	月 1 YouTube/Facebook 録画編集
	韓国・朝鮮語番組「즐거운 잔소리 시간」	月 1 録画編集ホームページ掲載
	奄美専門チャンネル「南の風」	月 1 YouTube/Facebook 生クロマキー
	らの会わいわい by ネットワークながた	月 1 YouTube/Facebook 生クロマキー

社会への提言	YYJournal 長田の視点	随時 YouTube/Facebook 録画クロマキー
	YYJournal 長田の視点～論説番組	月 1 YouTube/Facebook 録画クロマキー (2020 年 3 月から開始)
	コミュニティ AD	随時 YouTube/Facebook 録画クロマキー
未来・次世代	わいわいキッズラジオ	月 1 YouTube/Facebook 生・音声
	放課後ジュニアラジオ部	月 1 YouTube/Facebook 生・音声
交流・参加 (居場所)	ワンコイン番組	週 1 YouTube/Facebook 生クロマキー
	街ブラ～人と街とくらしを探る	月 1 YouTube/Facebook 録画クロマキー
	ゆうかりに乾杯！	月 1 YouTube/Facebook 生

*カテゴリー分けはあるが、すべての番組の内容は時としてカテゴリーを越えたものとなっている。FMYY の番組配信は手段である。配信の目的は、番組配信の当事者になることで、「だれもがすみやすいまち」について思考し、発信者自らが気づくこと、そしてその気づきを「まち」の中に増幅させ「まちづくり」への力となる人々を繋いでいくことを期待し活動している。市民力を上げていくためのものである。

④多様性の発信イベント

日時	名称	参加形態
4/29	第 15 回長田の園遊会 花水木まつり	実行委員会委員参加
7/17・18	夏越ゆかた祭 ゆかたでナイト 2019	実行委員会委員参加
8/3・4	大国公園なつまつり	地域団体として屋台並びに音響担当
10/13	第 16 回輝け！集まれ！ながたっ子祭	実行委員会委員参加
11/24	第 25 回一七市拡大版 2017 『あの日に思いやりの心』を忘れぬために～改めて災害に備える心～	実行委員会委員参加
1/17	第 21 回 1.17KOBE に灯りを in ながた	実行委員会委員参加

**それぞれ祭の企画から実行委員として参加し、地域における多様性顕在化の提案、阪神・淡路大震災からの市民の活動が積み重ねてきた知恵の継承を提案する機会としている。

(2)災害に対する防災・減災事業

ア)海外事業

① インドネシアでの災害ラジオを活用した地域防災力強化



インドネシア・コミュニティラジオ協会がインドネシア放送委員会から表彰 2019 年 4 月



インドネシア国家防災庁で臨時災害ラジオの制度化に向けたナショナルセミナー2019 年 12 月

2017年7月からスタートした JICA 草の根技術協力事業フェーズ2「官民協働によるコミュニティラジオを活用した防災力強化事業」(事業期間:2017年7月から2021年7月まで)は、引き続きインドネシア・コミュニティラジオ協会内に FM わいわいの現地拠点を置いて、現地パートナー(インドネシア・コミュニティラジオ協会、アトマジャヤ大学ジョグジャカルタ校、コンバイン・リソース・インスティテューション)と協働で災害ラジオの制度化を推し進めている。2018年度の臨時災害ラジオ局の開設後の展開として災害時のみならず、地域防災計画・施策の中にコミュニティラジオの活用が、中部ジャワ州ムラピ山周辺の三つの県防災局で盛り込まれている。東ジャワ州クルード山周辺のクディリ県スンプ村でも村役場の防災計画の中に盛り込まれた。クディリ県防災局では検討中。北スマトラ州カロ県シナブン山周辺ではバトゥカラン村役場で検討が始まっている。

② インドネシアの災害被災地で開設した災害エフエムの法制度化

2018年7月末のジャパンプラットフォーム事業のインドネシア・北ロンボク県に、インドネシア・コミュニティラジオ協会と協働で開設したラジオ局(災害ラジオ局/コミュニティラジオ局)、同じくジャパンプラットフォーム事業として、2018年9月末にインドネシア・ロンボク島で発生した地震・津波の被災地での BHN テレコム支援協議会、インドネシア・コミュニティラジオ協会と協働で開設した災害ラジオ局の事業終了は2019年5月である。

この災害ラジオの働きが高く評価され、情報通信省の省令が改定されスラウェシ島地震・津波の被災地で、インドネシアで初めとなる省令に基づく臨時災害ラジオ局の開設が実現した。情報通信省とは災害時に災害専用のラジオ局開設のための周波数の割り当てについて議論を進めている。また国家防災庁も災害の被災地での災害ラジオの必要性を強く認識し、その活用を公的に位置付けるための議論を進めている。

ジャカルタで国家防災庁と共催で、行政機関、大学、NGO、メディアを対象に災害ラジオの普及を目的にしたナショナルセミナーを開催。ナショナルレベルで、災害ラジオ/コミュニティラジオの防災/減災への活用に関して議論を共有することができ、その活用を公的に位置づける目的へ前進した。

(イ) 国内事業

① 危機管理室との連携

神戸市危機管理室との覚書締結は、2019年7月からのストリーミング方式での配信を完全に中止したことにより、新たな情報のあり方の提案を行っている。それは FMYY がその最初から「行政から流れる情報へ外国人がアクセスする」という思考から、すでに多くのリスナーを持つ定住外国人コミュニティの番組の情報配信の重要性を伝え、外国人コミュニティが主催する番組継続が、いかに重要であるかを理解してもらうための話し合いを継続。今回のコロナ災害における情報支援のあり方を例に出し引き続き提案していく。

② 被災地との交流・連携

① 被災地意見交換会 2019年4月

和歌山「濱口梧陵記念館津波防災教育センター 稲むらの火館」館長から津波の継承についてレクチャーを受けた。

② 宮城県気仙沼「女性の復興カフェ」2020年2月24日

東日本大震災の被災地における女性に特化した災害から復興への意見交換会。8年を経過した気仙沼での女性の声を集約。

- ③ 宮城県南三陸「第5回全国被災地語り部シンポジウム」
実行委員会に参加並びに記憶を記録するメディアの果たす役割のパネラーとして参加。
- ④ 毎月開催の神戸復興塾 311 支援集会
被災地支援や訪問をした時に報告者として参加。
- ⑤ 包摂都市ネットワーク・ジャパン委員会に参加
「外国籍住民との共生」について登壇と共に論文執筆と委員として参加。

ウ) 国内外共通事業

① 第9回東アジア包摂都市ネットワークワークショップ・国際フォーラム@台北

阪神・淡路大震災からのまちづくりにおけるコミュニティメディア FMYY の果たしてきた役割について登壇者として参加。参加は台北・香港・ソウル・大阪、そして神戸としての参加。「都市と社会」に論文執筆した。

(3) 多文化共生のまちづくりに資する場づくり、研究、教育、啓発事業

(ア) 教育現場との連携

① 大学・高校・中学・小学校・研究者(国内外)

形態	大学・研究者(国内外)
インターン受け入れ	神戸学院大学、京都外国語大学、ソウル女子大学校、兵庫高校創造科、長田中学トライやる week (ベトナム人中学生が参加)
講義(非常勤講師)	神戸親和女子大学、神戸常盤大学、神戸大学、兵庫県立大学、神戸学院大、兵庫高校、大阪経済法科大学、関西学院大学、龍谷大学、同志社大学 神戸市立だいいち小学校(教職員)
研修/フィールドワーク	JICA 中南米、JICA ブラジル防災、ムバンチョンビンラチャパット大学(タイ)、チュラロンコン大学(タイ)、ソウル女子大学(韓国)、東北大学、大阪市大、神戸大学、笹川平和財団、近畿教育委員会婦人部、全国紙管工業組合、PHD 協会
番組を活用した調査	神戸情報大学院大学 詳細：英日番組「KOBE bridging JAPAN & AFRICA through ICT (2017年度から2年半制作配信)」のリスナー(日本、アフリカ)に対してアンケート調査を行い、解析、論文制作。神戸とアフリカを結ぶための神戸市への提言につなげた。
	関西学院大学総合政策学部メディア情報学科山中速人研究室 詳細：関西学院大学、神戸大学、兵庫県立大学、神戸常盤大学の学生に対して「記憶を記録する」をテーマにした意識調査を実施。その解析結果をふまえ調査報道番組として発信、並びに論文制作を実施した

(イ) 企業との連携・コーディネート

NP0 広報力向上委員会「伝えるコツ」委員会委員

市内百貨店内部講習向け講師コーディネート

毎日放送の防災番組「ネットワーク 1.17」トーク番組「阪神・淡路大震災 25 年～満月の夕を語

る」出演：ソウルフラワーユニオン中川敬×日比野純一（FM わいわい理事）2019 年度第 57 回ギャラクシー賞ラジオ部門奨励賞受賞

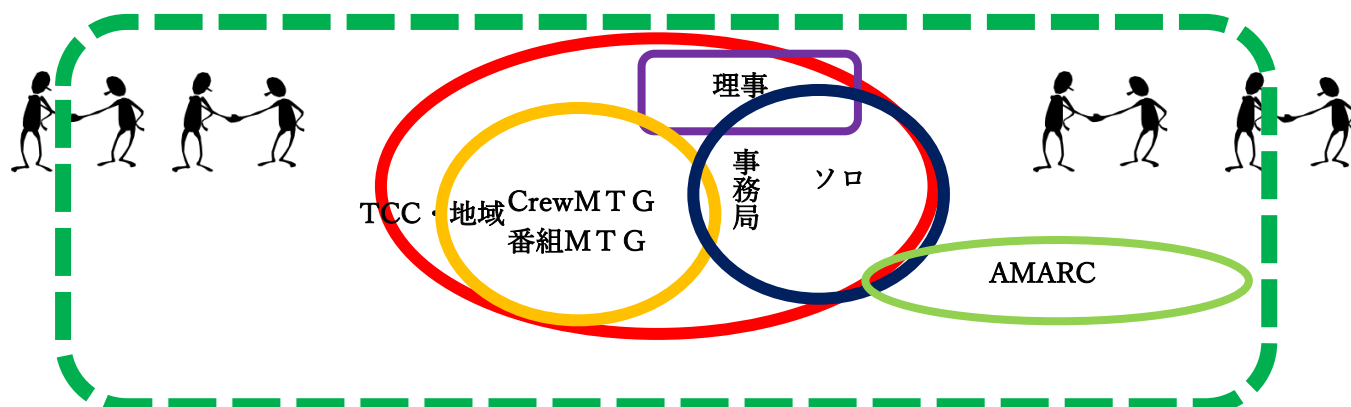
（ウ） 自主勉強会

理事特性	大坪理事に須磨翔風高校 8 月番組で福島ロボットテストフィールドについて解説
------	--

※理事や crew が講師となって、勉強会や知恵共有を行った。

Ⅱ 管理・運営

（1）団体の運営体制



国内事業は神戸・長田で実施、海外事業を行うインドネシア・ソロ事務所とはオンラインで繋がっている。事務局（日本）の開設日は、火・木・土の 10 時から 18 時を基本とした。ただし、番組配信や収録などに関しては、適宜行っている。国内事業の内、特にコミュニティメディア事業に関する全体的な情報共有はメーリングリスト「CrewML」で行い、番組や広報についての情報共有や検討は月一回の「番組 MTG」で行った。事務局 MTG、CrewMTG といった会議の開催頻度やニュースレターの発行頻度が下がっており、事務局内外で活動の進捗や情報を共有する動きが少なかった。

2016 年の新体制以降、団体理念のもとに個々人の意欲が団体運営を支えているといっても過言ではない。大川が育休から時短ながら復帰したこともあり、団体運営を見直し、団体自体の持続可能性を高めるべく、まずは中長期ビジョンの策定に着手した。主にはワークの実施や勉強会の参加を通じ、課題抽出と中長期の目標設定に挑戦した。コミュニティメディア部門の特に番組配信については、3 年間の Crew の尽力により新しい形が定着し、それぞれから豊かな発信が続けられている。団体としては大小様々な課題がある中でも「活動者や支援者とのつながりを保ち、育てる、さらに広げる」「事業収入を安定させる」「活動者が情報・経験・ノウハウを共有し、成長する」という点について、中期目標として積極的に取り組んでいくべきと考える。

一部先行的に支援者とのつながりを改善すべくデータベースの移行を開始するなど実務に反映させたものもあるが、十分に体制が整わず、次年度に引き続き実施することとした。

◆2020 年度 事務局体制

日本事務所：金、緒方、大川（時短）

インドネシア事務所：日比野、岡戸

会計：古寺

中長期勉強会	FMYY Purpose/Vision を顕在化するための勉強会 対象：大川・金+Crew
	ミッションをベースにしたハンズオン型 NPO マネジメント支援事業 2019 年度「中期計画をつくろう」講座 対象：大川・金
データベース強化	Salesforce 研修 対象：大川

(2) 2019 年度決算

別紙参照

(3) 支援者・管理、ファンドレイジング

多言語センターFACIL との共同運営時代から、会員情報を始めとした支援者情報の管理にデータベースシステムを利用してきた。これについて現在の事務局体制や業務内容に合わない点が見られることから、本年度より別システムへの移行を開始した。今年度は NPO サポートセンター主催の研修へ参加、その後 NPO サポートセンターの個別有償サポートを受け、移行のためデータの整備を行った（継続中）。また外部サービスを利用していたメールニュース配信を内部システムに統合し、配信方法を変更した。

ファンドレイジングとしては、使途指定寄付として主にコミュニティメディア事業の機材に対するご寄付をいただいた。

	正会員	賛助会員	一般会員	CrewML 参加者	YYNews 購読者 2019 年 12 月から配信方法変更
2019 年度	24 名	19 口	89 名	72 名	341 名
2018 年度	24 名	19 口	72 名	73 名	344 名

(4) アカウントビリティセルフチェック=ASC

JANIC(下記 URL を参照。国際協力 NGO センター)が提唱するセルフチェックを行い、2018 年 6 月より実施したことを証明するマークを取得した。FMYY のいろんな広報ツール(チラシ、名刺など)に活用している。

<http://link.janic.org/more/accountability/selfcheck/>



2019年度 活動計算書(予算対比)

2019年04月01日～2020年03月31日(配賦)

特定非営利活動法人 エフエムわいわい 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

	科目	予算額	決算額	予算残額	執行率(%)
1.経常増減の部					
(1)経常収益					
受取会費					
	正会員受取会費	132,000	120,000	12,000	90.9
	賛助会員受取会費	200,000	190,000	10,000	95
	一般会員受取会費	200,000	178,000	22,000	89
	受取会費計	532,000	488,000	44,000	91.7
受取寄付金					
	一般寄付金	300,000	127,765	172,235	42.6
	使途指定寄付金－管理	0	252,105	-252,105	0
	使途指定寄付金－放送	500,000	418,959	81,041	83.8
	個人寄付	100,000	26,326	73,674	26.3
	台風19号義援金	0	135,000	-135,000	0
	神戸学院大学フィールドスタディ	0	12,000	-12,000	0
	受取寄付金計	900,000	972,155	-72,155	108
受取助成金等					
	受取民間助成金				
	－住友ゴム工業	250,000	246,000	4,000	98.4
	受取助成金等計	250,000	246,000	4,000	98.4
事業収益					
	コミュニティメディア事業収益				
	－受託料	1,500,000	1,028,880	471,120	68.6
	－放送料	1,000,000	1,131,270	-131,270	113.1
	－1コイン番組	100,000	47,495	52,505	47.5
	－DVD	0	6,000	-6,000	0
	－機材	0	1,200	-1,200	0
	イベント企画・運営事業収益				
	－受託料	450,000	755,300	-305,300	167.8
	－販売	0	6,900	-6,900	0
	コンテンツ企画・運営事業収益				
	－受託料	300,000	400,040	-100,040	133.3
	－謝礼	0	12,200	-12,200	0
	－DVD	0	15,000	-15,000	0
	復旧・復興(スラウェシ)事業収益	1,218,667	1,574,900	-356,233	129.2
	研究・教育・啓発事業収益				
	－受託料	370,000	456,690	-86,690	123.4
	－謝礼	0	123,884	-123,884	0
	－DVD	2,500	0	2,500	0
	JICA防災プロジェクト収益				
	－受託料	16,884,000	12,879,068	4,004,932	76.3
	事業収益計	21,825,167	18,438,827	3,386,340	84.5
その他収益					
	受取利息	3,000	1,768	1,232	58.9
	雑収益	1,000	4,300	-3,300	430
	その他収益計	4,000	6,068	-2,068	151.7
	経常収益合計	23,511,167	20,151,050	3,360,117	85.7
(2)経常費用					
事業費					
【人件費】					
	給料手当	7,287,667	5,491,766	1,795,901	75.4
	雑給	306,000	178,750	127,250	58.4
	法定福利費	636,000	906,410	-270,410	142.5
	福利厚生費	0	16,772	-16,772	0
	通勤交通費	100,000	107,448	-7,448	107.4
	【人件費計】	8,329,667	6,701,146	1,628,521	80.4
【その他費用】					

2019年度 活動計算書(予算対比)

2019年04月01日～2020年03月31日(配賦)

特定非営利活動法人 エフエムわいわい 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

	科目	予算額	決算額	予算残額	執行率(%)
	諸謝金	190,000	424,480	-234,480	223.4
	移動費(JICA)	0	9,310	-9,310	0
	旅費交通費	400,000	281,659	118,341	70.4
	航空費(JICA)	994,000	873,196	120,804	87.8
	その他旅費(JICA)	1,003,000	587,308	415,692	58.6
	会議費	150,000	45,311	104,689	30.2
	施設使用料	8,400	23,952	-15,552	285.1
	ネット放送費	15,000	16,200	-1,200	108
	権利料	45,000	16,200	28,800	36
	通信運搬費	196,000	153,482	42,518	78.3
	消耗品費	149,400	225,130	-75,730	150.7
	研修費	0	23,661	-23,661	0
	海外活動諸費	4,540,000	4,201,919	338,081	92.6
	印刷製本費	149,000	51,035	97,965	34.3
	レンタル料	0	6,250	-6,250	0
	国内活動業務費	207,000	89,202	117,798	43.1
	事業関連経費	1,107,800	420,730	687,070	38
	保険料	160,000	115,030	44,970	71.9
	水道光熱費	0	30,965	-30,965	0
	外注費	120,000	20,000	100,000	16.7
	委託費	1,500,000	2,221,448	-721,448	148.1
	諸会費	60,000	0	60,000	0
	支払手数料	25,000	16,185	8,815	64.7
	租税公課	20,000	21,044	-1,044	105.2
	寄付金支出	650,000	626,400	23,600	96.4
	支払寄付金	20,000	12,000	8,000	60
	雑費	5,000	10,000	-5,000	200
	減価償却費	500,000	377,388	122,612	75.5
【その他費用計】		12,214,600	10,899,485	1,315,115	89.2
事業費計		20,544,267	17,600,631	2,943,636	85.7
管理費					
【人件費】					
	給料手当	350,000	323,485	26,515	92.4
	通勤交通費	0	120,497	-120,497	0
【人件費計】		350,000	443,982	-93,982	126.9
【その他費用】					
	諸謝金	0	115,115	-115,115	0
	旅費交通費	15,000	1,970	13,030	13.1
	会議費	65,000	35,383	29,617	54.4
	通信運搬費	20,000	15,182	4,818	75.9
	広告宣伝費	250,000	68,124	181,876	27.2
	消耗品費	3,000	7,070	-4,070	235.7
	研修費	0	153,400	-153,400	0
	印刷製本費	10,000	6,705	3,295	67.1
	修繕費	5,000	0	5,000	0
	保険料	0	24,440	-24,440	0
	水道光熱費	0	2,716	-2,716	0
	顧問料	100,000	100,000	0	100
	委託費	170,000	154,000	16,000	90.6
	諸会費	140,000	116,000	24,000	82.9
	支払手数料	20,000	22,490	-2,490	112.5
	消費税	1,578,900	436,600	1,142,300	27.7
	租税公課	10,000	10,200	-200	102
	寄付金支出	70,000	93,600	-23,600	133.7

2019年度 活動計算書(予算対比)

2019年04月01日～2020年03月31日(配賦)

特定非営利活動法人 エフエムわいわい 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

	科目	予算額	決算額	予算残額	執行率(%)
	支払寄付金	66,000	149,000	-83,000	225.8
	雑費	20,000	6,800	13,200	34
	【その他費用計】	2,542,900	1,518,795	1,024,105	59.7
	管理費計	2,892,900	1,962,777	930,123	67.8
	経常費用合計	23,437,167	19,563,408	3,873,759	83.5
	当期経常増減額	74,000	587,642	-513,642	
2.経常外増減の部					
(1)経常外収益					
	為替差益	0	170,352	-170,352	0
	経常外収益合計	0	170,352	-170,352	0
(2)経常外費用					
	過年度損益修正損	0	42,216	-42,216	0
	経常外費用合計	0	42,216	-42,216	0
	税引前当期正味財産増減額	74,000	715,778	-641,778	
	法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0	100
	当期正味財産増減額	2,000	643,778	-641,778	
	前期繰越正味財産額	2,444,331	2,444,331	0	100
	次期繰越正味財産額	2,446,331	3,088,109	-641,778	

2019年度 貸借対照表

2020年3月31日現在

特定非営利活動法人 エフエムわいわい 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科 目		金 額	
資産の部			
流動資産			
現金	195,270		
当座預金	408,321		
普通預金	10,468,514		
未収金	318,200		
流動資産合計		11,390,305	
固定資産			
建物付属設備	1		
什器備品	676,323		
電話加入権	114,984		
固定資産合計		791,308	
資産合計			12,181,613
負債の部			
流動負債			
未払金	1,053,062		
未払法人税等	72,000		
前受金	2,771,292		
預り金	86,550		
未払消費税	436,600		
流動負債合計		4,419,504	
固定負債			
長期借入金	4,674,000		
固定負債合計		4,674,000	
負債合計			9,093,504
正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,444,331	
当期正味財産増減額		643,778	
正味財産合計			3,088,109
負債及び正味財産合計			12,181,613

2019年度 特定非営利活動に係る事業の会計 財産目録

2020年3月31日現在

特定非営利活動法人 エフエムわいわい

(円)

科 目	摘 要	金 額		
資産の部				
流動資産				
現金		195,270		
--小口現金		27,366		
--小口1(金)		51,875		
--ペイパル		35,308		
--インドネシア現金		67,093		
--インドネシア現金2		13,628		
当座預金		408,321		
--郵便振替口座		408,321		
普通預金		10,468,514		
--三菱UFJ銀行		2,535,859		
--ゆうちょ銀行(JPF1と消費税)		1,239,360		
--ゆうちょ銀行(JICA)		3,191,056		
--みなと銀行		26,265		
--ゆうちょ銀行(JPF2)		2,377,923		
--インドネシア民衆銀行(BRI1)		997,400		
--インドネシア国営銀行(BNI)		100,651		
未収金		318,200		
--放送料		263,200		
--受託料		55,000		
流動資産合計			11,390,305	
固定資産				
建物付属設備		1		
什器備品		676,323		
電話加入権		114,984		
固定資産合計			791,308	
資産合計				12,181,613
負債の部				
流動負債				
未払金		1,053,062		
--給料		398,750		
--その他諸経費		11,100		
--受託料		643,212		
未払法人税等		72,000		
前受金		2,771,292		
預り金		86,550		

2019年度 特定非営利活動に係る事業の会計 財産目録

2020年3月31日現在

特定非営利活動法人 エフエムわいわい

(円)

科 目	摘 要	金 額		
--源泉所得税(給与)		29,227		
--社会保険料		57,323		
未払消費税		436,600		
流動負債合計			4,419,504	
固定負債				
長期借入金		4,674,000		
固定負債合計			4,674,000	
負債合計				9,093,504
正味財産合計				3,088,109

1. 重要な会計方針

税務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

	科目名	コミュニティメディア	イベント・運営	コンテンツ・制作	復旧・復興(スラウェ	研究・啓発	JICA草の根事業	事業部門計	管理部門	合計
1.経常増減の部										
(1)経常収益										
受取会費										
	正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	120,000	120,000
	賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	190,000	190,000
	一般会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	178,000	178,000
受取会費計		0	0	0	0	0	0	0	488,000	488,000
受取寄付金										
	一般寄付金	0	0	0	0	0	0	0	127,765	127,765
	使途指定寄付金－管理	0	0	0	0	0	0	0	252,105	252,105
	使途指定寄付金－放送	418,959	0	0	0	0	0	418,959	0	418,959
	個人寄付	0	0	0	0	0	0	0	26,326	26,326
	台風19号義援金	0	0	0	0	0	0	0	135,000	135,000
	神戸学院大学フィールドスタディ	0	0	0	0	12,000	0	12,000	0	12,000
受取寄付金計		418,959	0	0	0	12,000	0	430,959	541,196	972,155
受取助成金等										
	受取民間助成金	246,000	0	0	0	0	0	246,000	0	246,000
受取助成金等計		246,000	0	0	0	0	0	246,000	0	246,000
事業収益										
	コミュニティメディア事業収益	2,214,845	0	0	0	0	0	2,214,845	0	2,214,845
	イベント企画・運営事業収益	0	762,200	0	0	0	0	762,200	0	762,200
	コンテンツ企画・運営事業収益	0	0	427,240	0	0	0	427,240	0	427,240
	復旧・復興(スラウェシ)事業収益	0	0	0	1,574,900	0	0	1,574,900	0	1,574,900
	研究・教育・啓発事業収益	0	0	0	0	580,574	0	580,574	0	580,574
	JICA防災プロジェクト収益	0	0	0	0	0	12,879,068	12,879,068	0	12,879,068
事業収益計		2,214,845	762,200	427,240	1,574,900	580,574	12,879,068	18,438,827	0	18,438,827
その他収益										
	受取利息	0	0	0	0	0	0	0	1,768	1,768
	雑収益	0	0	0	0	0	0	0	4,300	4,300
その他収益計		0	0	0	0	0	0	0	6,068	6,068
経常収益合計		2,879,804	762,200	427,240	1,574,900	592,574	12,879,068	19,115,786	1,035,264	20,151,050
(2)経常費用										
【人件費】										
	給料手当	0	0	0	749,572	0	4,742,194	5,491,766	323,485	5,815,251
	雑給	0	0	0	178,750	0	0	178,750	0	178,750
	法定福利費	0	0	0	0	0	906,410	906,410	0	906,410
	福利厚生費	0	0	0	0	0	16,772	16,772	0	16,772
	通勤交通費	0	0	0	0	0	107,448	107,448	120,497	227,945
【人件費計】		0	0	0	928,322	0	5,772,824	6,701,146	443,982	7,145,128
【その他費用】										
	諸謝金	20,000	178,480	192,000	0	34,000	0	424,480	115,115	539,595
	移動費(JICA)	0	0	0	0	0	9,310	9,310	0	9,310
	旅費交通費	132,080	32,780	8,000	0	71,451	37,348	281,659	1,970	283,629
	航空費(JICA)	0	0	0	0	0	873,196	873,196	0	873,196
	その他旅費(JICA)	0	0	0	0	0	587,308	587,308	0	587,308
	会議費	12,359	15,583	0	0	17,369	0	45,311	35,383	80,694

	科目名	コミュニティメディア	イベント・運営	コンテンツ・制作	復旧・復興(スラウェ	研究・啓発	JICA草の根事業	事業部門計	管理部門	合計
	施設使用料	23,952	0	0	0	0	0	23,952	0	23,952
	ネット放送費	16,200	0	0	0	0	0	16,200	0	16,200
	権利料	16,200	0	0	0	0	0	16,200	0	16,200
	通信運搬費	92,746	15,182	2,336	0	3,503	39,715	153,482	15,182	168,664
	広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	68,124	68,124
	消耗品費	188,915	9,699	1,087	0	1,631	23,798	225,130	7,070	232,200
	研修費	0	0	0	0	23,661	0	23,661	153,400	177,061
	海外活動諸費	0	0	0	0	0	4,201,919	4,201,919	0	4,201,919
	印刷製本費	35,143	6,705	1,032	0	1,547	6,608	51,035	6,705	57,740
	レンタル料	0	0	0	0	0	6,250	6,250	0	6,250
	国内活動業務費	0	0	0	0	0	89,202	89,202	0	89,202
	事業関連経費	0	0	0	0	0	420,730	420,730	0	420,730
	保険料	0	0	0	0	0	115,030	115,030	24,440	139,470
	水道光熱費	12,119	2,716	418	0	627	15,085	30,965	2,716	33,681
	顧問料	0	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000
	外注費	20,000	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000
	委託費	487,380	482,000	307,000	0	377,440	567,628	2,221,448	154,000	2,375,448
	諸会費	0	0	0	0	0	0	0	116,000	116,000
	支払手数料	1,248	542	1,414	0	108	12,873	16,185	22,490	38,675
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	436,600	436,600
	租税公課	0	0	0	0	0	21,044	21,044	10,200	31,244
	寄付金支出	417,600	93,600	14,400	0	21,600	79,200	626,400	93,600	720,000
	支払寄付金	12,000	0	0	0	0	0	12,000	149,000	161,000
	雑費	10,000	0	0	0	0	0	10,000	6,800	16,800
	減価償却費	377,388	0	0	0	0	0	377,388	0	377,388
	【その他費用計】	1,875,330	837,287	527,687	0	552,937	7,106,244	10,899,485	1,518,795	12,418,280
	経常費用合計	1,875,330	837,287	527,687	928,322	552,937	12,879,068	17,600,631	1,962,777	19,563,408
	当期経常増減額	1,004,474	-75,087	-100,447	646,578	39,637	0	1,515,155	-927,513	587,642
	2.経常外増減の部									
	(1)経常外収益									
	為替差益	0	0	0	0	0	170,352	170,352	0	170,352
	経常外収益合計	0	0	0	0	0	170,352	170,352	0	170,352
	(2)経常外費用									
	過年度損益修正損	0	0	0	0	0	0	0	42,216	42,216
	経常外費用合計	0	0	0	0	0	0	0	42,216	42,216
	税引前当期正味財産増減額	1,004,474	-75,087	-100,447	646,578	39,637	170,352	1,685,507	-969,729	715,778
	法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	72,000	72,000
	当期正味財産増減額	1,004,474	-75,087	-100,447	646,578	39,637	170,352	1,685,507	-1,041,729	643,778

3. 使途等が制約された寄付金等の内訳
使途等が制約された寄付金等の内訳は以下の通りです。

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
寄付金					
管理	0	252,105	252,105	0	データベース
放送事業	0	418,959	418,959	0	放送用機材
台風19号義援金	0	135,000	135,000	0	
神戸学院大学フィールドスタ	0	12,000	12,000	0	
合計	0	818,064	818,064	0	

4. 固定資産の増減の内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物附属設備	2,500,000	0	0	2,500,000	2,499,999	1
什器備品	5,018,504	0	0	5,018,504	4,342,181	676,323
合計	7,518,504	0	0	7,518,504	6,842,180	676,324

5. 借入金の増減の内訳

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	4,710,000	0	36,000	4,674,000